

2026年
2月号

寒さに負けない！

温もりを贈る2月！



暦の上では春を迎えましたが、まだまだ冷たい風の日が続いています。
天気のよい日にはお散歩へ出たり農園の様子を見に行ったりと、寒さを感じ季節を体感しながら活動しています。また、各事業所では卒園に向けた準備や4月からの新規ご利用者を迎え入れる準備など少しずつ春に向かっての準備をしています。
インフルエンザも流行しておりますので、ご家庭と事業所で連携してしっかりと予防していきたいと思います。

今月の研修

集団指導研修

障害福祉サービスを提供している事業所は、毎年この時期に東京都が行う「集団指導」という講義を受けています。

集団指導は、事業所のサービスの質の確保、そして正しく給付金を請求し安定した事業所運営をすることを目的としています。講義内容は、サービスの運営方法や給付金の請求方法・留意事項、また目まぐるしく改正される障害福祉制度の確認、虐待防止・人権擁護の意識啓発など多岐にわたります。受講した内容は、各事業所ごとにスタッフで共有し、支援内容の振り返りに役立てています。

虐待防止研修

職員向け法人内研修会で「虐待防止研修」が行われます。

法定研修の一つで、虐待の可能性や早期発見を行うために職員が意識を再認識すると共に虐待や権利擁護についての理解と知識を深めていきます。ご利用者の尊厳を守る安全・安心な環境作りにつなげていきます。

職員 コラム おはなしの実

先日の節分は我が家でも豆まきを行いました。

と言ってもお掃除が簡単なように小分けされた豆ですが…豆まきが終わると子供たちから「なんで豆なの？」と質問がありました。

「小さくて痛いからじゃない？」「早く投げられるからだよ！」などなど、みんなで考察しましたが調べてみると…

大豆をまくのは、豆が「魔滅(まめ)」に通じ、無病息災を願う意味があるからだといわれています。また、昔は「生の豆」をまいて、もし拾い忘れて芽が出ると「災いが芽吹く」として縁起が悪いとされていました。そのため、必ず「炒った豆」を使うのが伝統とされています。



Google調べ

「それじゃピーナッツでもいいの？」との質問に「多様性の時代だな…」と感じながらもまたパソコンを開いて調べる私。当たり前の習慣も由来などを家族で探ることで遊びと学びを楽しむ機会になった我が家でした。